



安全衛生

あれこれ

7

増田労働衛生コンサルタント事務所

所長 増田稔久

本年もよろしくお願ひ
します。

その昔、自家用車で踏切を渡っている際にエンストをしたことがあります。幸い惰性で踏切内から出ましたが、列車と衝突するのではないかとヒヤリとしました。それ以来、踏切の通行には特別な緊張感があります。

昨年も踏切事故がいくつか報道されました。踏切事故は、ひとたび発生すれば大惨事になりかねません。多額の損害賠償を請求される可能性もあります。今、立体交差化が進められていますが、依然として多くの踏切があります。ドラマイバーの私達には、うっ

かりミスが減らすための
努力が求められています。

私は、日常の行為で、ミスを
した場合に大変なことになること
や、間違えやすいことには
「指差し呼称」
を行っています。

列車の運転手や車掌さんが行っている安全確認行動の「指差し呼称」です。
踏切を渡る場合は、先ず車の窓を開け警報音を聞きやすくします。ラジオなどの音量も下げ

職場、家庭で「指差し呼称」を行いますか？

ます。次に、左右を見て、その方向に指を差し

「右、列車なし
ヨシ！」

「左、列車なし
ヨシ！」

「前方、スペース
ヨシ！」

と声を出して確認しま

す。その後、前の車や横断先のスペースを

「前方、スペース
ヨシ！」

「左、列車なし
ヨシ！」

と確認し、ゆっくり加速し通り抜けています。

妻が同乗しているときは、雑談を中断し同様の確認行動に付き合っ

中災防（中央労働災害防止協会）の資料によると、指差し呼称でミスは1/6に減らすことが出来る

踏切を渡る際には、安全確認行動「指差し呼称」を私たちも実践すること

が、この種の事故防止には欠かせないと思

列車と自動車の運転手がそれぞれに指差し呼称を

するのは、真剣な行為と

はいえ、少々愉快でもあります。継続するには愉快に思

快に思うことも大切で

よう。

「指差し呼称」は、正しい判断力を高める合理的な「安全確認行動」です。決して万能ではないでしょうが、これが出来るか否かによって、生死に係る危機対応さえ変わるかもしれない。そうならば、安全確認行動は、生きる力と言えるのではないで

誰も傷付けず自身と職場の仲間、家族を守る武器、防具とも言えます。ぜひ職場や家庭で実践して欲しいと願っています。

「火元コンロ、オフ
ヨシ！」

「戸締り、ロック
ヨシ！」

「指差し呼称の対象を検討することから始めてみませんか？

など

など

指差し呼称：踏切編



- ➡ 右、列車なし ヨシ!
- ➡ 左、列車なし ヨシ!
- ➡ 前方、スペース ヨシ!

